公民館報 こすど

発行所
小須戸町公民館
新潟県中蒲原郡小須戸町
印刷発行編輯人　矢部藤三郎

# 合併問題一歩前進

## ―町議会独立を議決―

去る一月三十日の委員会に於て自主独立の線を再確認し、今后の運動方針については常任委員会を開き審議することゝして旧正月を迎えたが、二月二十三日委員会を開催、呼びかけに訪問された各方面の状勢報告があり、概して川向い方面はその住民殊に婦人層は小須戸町合併を強く希望する者が多いが、各村会とも万場一致で白根合併を議決した関係上今直ちにと云う事は困難であるが一応白根へ合併後小須戸へ来たいと云う意向が強い、が而し何はともあれ、町が分裂している状態では呼びかけても受ける側では二の足を踏む事は当然であり、内部をまとめることが先決問題であるから、農村部の了解を得るよう努める事となり、偶然当日町役場を訪問された戸石、上浦両部落の代表と町の委員数氏が懇談をかさねられた結果やはり前述の意向が明らかにされたのでその線で近接部落への呼びかけを続行する事となつた。

越えて三月三日臨時町会が開催され、この問題を検討された結果。手続き上時間的に二月県会の上程には間にあわぬとの事で、矢代田の分町案は一応取り下げられ、促進委員会の意向を尊重すべきだとの意見多く、自主独立を再確認、十七対四で独立を議決した。

同三月十七日委員会を開催、熱心に且つ継続的に勧誘に出向かれて居る委員各位から状況報告あり、又懸念された内部統一の問題については、両者とも町の将来を想えばこその意見であるから、矢代田としても議会の議決を尊重し、暫く静観の態度をとり、町発展の為には協力を惜しまないとの発言もあり、此の円満妥結により委員一同も愁眉をひらき、今後活動する上に一層力強く感じられた。

倘議会の議決もすんだ事であり当委員会は一と先ず任務を完了したものと考え解消して強力な委員会を再組織すべしとの意見、亦地方選挙終了迄選挙運動と混同される恐れもあるから暫く中止したらどうかとの意見も出たが種々論議の結果、委員会の任務はむしろ今後重要の度を増すから解消せず存続し、指導等一環した企画に欠けていた面を考慮して少数強力機関を設ける事としその人選を正副委員長に一任の結果、正副委員長である、長谷川町長、鋑和議長、海津商工会長、保科岩輔氏の他五十嵐重雄、新井田政吉、加藤徳七、吉田正一、村山三吉、田中重三、成田高常、吉田久衛、渡辺平七、丸山清三郎の十氏を挙げ、倘二十日企画委員会で、井上寛治、栄森作司、五十嵐若吉の三氏からも参画していたゞくことになつた。

亦地方選挙前ではあるが、中止して冷却期間をおく事は全ての点で不利であるから、大がかりでなくとも常時呼び掛けは継続することゝなつた。

前述の如く町として未曾有の大問題も確に一歩前進し、待望の綜合病院誘致問題も予算措置は未だしとしても一縷の曙光を見出したやに聞いて居る事と考え合わせて見た時、町の画期的発展も今後の努力次第によつては、あながち不可能事ではないと考えられる。

此の時にあたつて町民の一致団結を望む事は勿論であるが、来るべき選挙により町長として、町議会議員として選出される方々には一段と愛町の熱意をもつて此の問題ととりくんで貰い度いと熱望するのである。

## 一票の行方

去る二月廿七日に行われた選挙の結果当町では左の通りであつた。

○衆議院

有権者総数　六、〇六四
投票数　五、一八〇
投票率　八五、四二%
無効　三六

内訳

| | |
|---|---|
| 一、二三三 | 石田宥全 |
| 二、三五四 | 高岡大輔 |
| 二八六 | 渡辺良夫 |
| 二三七 | 稲葉修 |
| 二二三 | 井伊誠一 |
| 六八六 | 佐藤芳男 |
| 三七 | 佐藤佐藤治 |
| 八七 | 木暮山人 |

因に県、郡の投票率は
県　八四、〇五%
郡　八四、〇六%

○最高裁々判官国民審査
投票総数　三、三〇二
（五四、四五%）
罷免を可とするもの　六八二
罷免を否とするもの　二、二一三
無効　四〇七

『早春』新保部落にて（吉田起風氏）

## 人間業をはなれた
# 珠算競技大会

主催　商工会　公民館

三月十三日午前十時から公民館会議室で第三回珠算競技大会が開催された。腕に覚えのある方は小学校から上は高等学校まで百名近い選手によつて神業としか考えられない妙技が展開され午後三時過終了した。入賞者次の通り

△小学校之部

六年生一等　須藤幸子
二等　笠原祐志雄
〃　山田美子
〃　井上欝子

五年生一等　関口幹夫
二等　五十嵐光江
三〃　小川耕三
三〃　田中功夫

四年生一等　田巻リム
二等　清野超
三等　笠原栄子

△中学校高校之部

中三年一等　高山七夕
三年二等　柴田萍子
中二年二等　古川要一郎
中一年三等　吉岡利昭
二年三等　八木章次
高校　奨励賞　能登二三子

## 今こそ
# 公明選挙
## の実を

衆議員の総選挙も終り、今度はこれについで地方選挙が行われる。すなわち都道府県の首長とその議員は四月二十三日に、又市町村長とその議会議員は四月三十日にそれ〳〵選挙が行われる。

今年は一月以来陽春四月にかけて正に選挙に明け選挙に暮れると云うべき国民的一大行事が展開せられつつあるのであるが衆議員選挙は終りをつげた。国民の一人としての立場から考えれば総選挙も共に軽重なく大切なことは、勿論であるが、しかし地方選挙は端的に私達の実生活に直接的なつながりをもつて自治体政治に関するのであるからその選出に当つては、特に私情を去つて最も厳正に一票を行使しなければならないのであるが、実際問題としては国会議員選挙よりも地方選挙の方は、却つてより多く情実選挙がなされていることは否むべからざる事実であつて、平生の親疎に左右されたり、或は縁故手蔓を辿つて泣落しや、その他アノ手コノ手の義理にからまれて折角の正しい批判や識見を外して自己を偽り心にもなく不適任な人物に投票するようなことがしば〳〵ありうるのである。

決議機関たる議会での議員とその執行機関たる首長に人格識見すぐれた人を得るか否かにか、つて自分達の投ずる一票によつて決せられるものである。

従つて自由かつ公正な選挙を行つて真の住民の代表を選ぶため全町一人の棄権なく挙げて投票せねばならない。

# 4月23日
# 県知事 県会議員 選挙の日
## 明るい郷土は 清き一票から

## 小さな一票 大きな力

# 補充選挙人名簿
## 申請についての注意

今回行われる県知事、県議、町長、町議選挙には、昨年九月十五日現在調製した基本選挙人名簿及び去る二月八日現在調製した補充選挙人名簿（衆議員選挙）が有効の名簿となり用いられますが、今回次のものについて申請によりそれ〳〵補充選挙人名簿が調製されることになりました。

(一)日本国民であつて左に該当する者が登録申請をする資格があります。

1.県の選挙（県知事、県会議員）のため調製する名簿。

(イ)昭和十年二月十日より同年四月十一日までに生れた者（満二十才に達した者）

(ロ)昭和二十九年十一月八日から昭和三十年一月十日までに小須戸町に住所を移しているもの。

(ハ)現に有効の選挙人名簿に登録される資格を有する者で登録洩れとなつているもの

◎申請期間　四月十一日より四月十三日まで

2.町の選挙（町長、町会議員）のため調製する名簿。

(イ)昭和十年四月十二日より同月二十二日までに生れた者（満二十才に達した者）

(ロ)昭和三十年一月十一日から同月二十一日までの間に小須戸町に住所を移している者）

(ハ)現に有効の選挙人名簿及び県の選挙のため調製される名簿に登録される資格を有する者で登録洩れとなつている者）

◎申請期間　四月二十二日より四月二十三日まで

細部については選挙管理委員会にお尋ね下さい。

# 4月30日
# 町長 町会議員 選挙の日
## おいらの一票 住みよい町に

# 図書室便り
## 市日、日曜日貸出し

図書整理のため、半月近く貸出し停止し、みなさまに御不自由をおかけ致しましたことを深くおわび申上げます。

クラブ員の方々家業におつとめにお暇のないところ、夜の時間をさいて一つしようけんめい御奉仕ねがい致しました製本も初めてのことでもあり思うように予定数が出来上らず、現在下準備して居る本は大体四月中に仕上げる予定でございますのでおわび申上ます。

貸出し開始は、四月三日午前十時より午后九時まで致します、多数御利用の程お待ち申上げて居ります

(一)料金は保証金として一ケ年分　金一二〇円頂戴いたします

(二)一般貸出しの利用は読書クラブ会員は無料であります。

(三)小須戸町読書クラブ会員も約五十名近く、三ケ月一〇〇円一ケ年四〇〇円の会費で運営致して居ります。各グループは毎月一冊づゝの新刊書が読めます六人一組のグループをつくりクラブへ御加入をお待ち申上げて居ります。希望者は公民館へ御連絡下さい。

(四)三月はじめこのさゝやかな図書室をみなさんの図書室として更に効果的な運営を致したく広く御意見をおききしたいと思いまして利用者の方に御回答をおねがい致しました。問の二項三項の答をかいつまんで記します。

(2)これからどんな本を入れたらよいと思いますか？

電気、機械関係、料理の本、学習参考書、大衆向の修養雑誌「大法輪」仏教に関する本（般若経の解説）随筆短篇集、世界探偵小説全集現代小説全等。

(3)図書館のやり方その他のことで御意見ありませんか？

◎貸出しを手早くしてほしい。
◎日曜貸出しは夜もやつてほしい。
◎毎日貸出ししてほしい
◎現在のまゝで結構
◎もつと予算を確保し図書の充実に力を入れ閲覧室設置をのぞむ。

(五)私たち関係者は御意見を参考に努力したいと考えています。

三月三十一日午后七時半より読書グラブの総会を開催致し三十年度の運営について協議致す予定です。

# 待望の県立病院決る
## 残すは予算化だけ

小須戸町及び隣接各町村が一大関心を持たれた待望の県立病院誘致は昨年十二月県議会に採択決議され、町当局は郡町村会、県会方面と緊密な連けいのもとに運動を続けて来たが、幸いに県当局の中蒲原郡の福祉増進と而も小須戸町を中心として医療機関に恵まれない地域を認識され、県の医療機関整備計画中に折込み去月廿三日柏崎市に開催された県医療機関審議会に提案、万場一致原案が可決された。これで県立病院誘致は結実を見たわけであるが残す処は今度新しく選出される県議会によつて予算化の成立を待つばかりとなつたので、全町一致更に全力をあげて一日も早く、病院の開設に努力しなければならない。

## 寄附二つ

毎年社会福祉へと寒行によつて得た浄財を寄附されておられる下稲荷町の上田コトさんは本年も浄財壱千参百円を又、天ケ沢の土田照山さんも壱千壱百四拾七円を

◎◎◎◎◎◎◎◎◎◎◎◎◎◎

# 保育園に望む

◎◎◎◎◎◎◎◎◎◎◎◎◎◎

最近ふとした事から当町の保育園の様子を聞き、町民として憤慨にたえず、私見を述べて当局のお考えをお聞きしたいと思います。

その第一は、全く幼稚園化している事です。今更言うまでもなく保育園は、主に労働者が安心して働けるよう、その子を日中あずかる機関である筈です。これで子守をして学校を休まねばならぬ子供達も学校へ行けると内心よろこんでいたのですが、結果は全くの逆。一部の生活に心配のない子供達が贅を競う場所となつていると聞いて全く唖然といたしました。

しかもその生活は全く幼稚園であり、保育園らしい空気は薬にしたくも無いと聞いては町民を欺瞞するも甚しいと言わねばなりません。次に今一歩下つて幼稚園を見た時、その経営に常識外れの点があまりに多い事です。聞けば幼稚園の卒業式は極めて厳粛な卒業式で一人一人に証書を渡し、答弁、答辞をよませ、一人五十円位の謝恩の贈品、最后には謝恩会品の贈呈をしたそうです。

この人達は万六才以下の子供の世界がどんなものであるかを考えたことがあるのでしようか。[illegible]着飾り、弁当の[illegible]一番不幸なのは子供ではないでしようか。[illegible]せん。当事者の反省を促すと共に大方の御意見をおききいたしたいと思います。（町民）

# 三月購入図書

| | |
|---|---|
| 時代 | 鞍馬天狗（夕立の武士） |
| 現代 | 青春怪談 |
| 〃 | 山の音 |
| 記録 | ある報道写真家の見た昭和三十年史 |
| 〃 | 野獣の性生活 |
| 〃 | 日本丸航海記 |
| 全集 | 徳川家康(6)（燃える土の巻） |
| 〃 | 徳川家康（颶風の巻） |
| 随筆 | 旦那放談 |
| 〃 | 編集者の発言 |
| 〃 | ひとりも愉 |
| 家庭 | たのしく出来る手品の教室 |
| 雑誌 | キネマ旬報　二月上下旬　三月上旬<br>文芸春秋　三月号<br>オール読物四月号<br>文芸春秋別冊(44)<br>春の小説集<br>文芸春秋　臨時増刊漫画読本(3) |

# 赤ちゃん大会

## ……上手に離乳を…

三月十四日から十七日まで赤ちゃんコンクールを実施しました結果、出席数一四七名の中二五名の優良赤ちゃんが選ばれました。此の二五名の優良赤ちゃんは全部離乳方法が上手になされておりました。

赤ちゃんを丈夫に育てるには離乳の仕方が大切と思われます。赤ちゃんが七ヶ月位になつてそろそろ食物に目をつける様になつたら離乳を初めなければなりません。

この頃になると母乳や人工栄養のお乳だけでは栄養に色々と不足して来て顔色も悪く体重も減つて来ます。この大切な離乳も暑い季節や、入梅頃は胃腸障害などを起し易くむづかしいのですが春か秋の良い季節には弱い赤ちゃんでも割合に順調にすゝめる事が出来ます離乳をおくらせますと鉄分やカルシユームなどの塩類ビタミンが不足し、又含水炭素の不足からエネルギーの補給がつかなくなり、顔色は悪く病気に対する抵抗力も弱り発育も悪くなりその上神経質になり易いのです。

母乳は大体一年半位まで飲ましても良いのですが、一年たつたら食物をずつと多くしてだら〳〵と何時までも乳房を吸わせておくのはよくないことです。

良い季節に上手に離乳しまして来年の赤ちゃんコンクールには大勢の優良赤ちゃんが選ばれる様にお願いします。

（厚生課）

### 健康優良児

**男児**　一五名（順不同）

栄森　博（矢代田）
星田　武明（下稲荷町）
星田　等（矢代田）
坂井　彰（出鑵町）
松尾　正晴（鎌倉）
星田　篤（矢代田）
白木　勝（〃）
武沢　均（〃）
佐野　正則（東町）
吉田　茂明（横川）
竹和　渉（小向）
本多　由栄（矢代田）
丸山　芳則（ウデコキ）
田沢　安栄（矢代田）

**女児**　一一名

武田　陽子（横川）
川瀬　みどり（新保）
渡辺　美恵子（龍玄）
近藤　久美子（矢代田）
佐藤　裕子（ウデコ木）
鈴木　幸恵（水田）
高野　昌子（横川）
東樹　都志子（矢代田）
増井　幸子（〃）
丸山　美紀子（ウデコ木）
矢部　チイ子（四之町）

### 囲碁将棋會授賞

公民館で二月二十日第十四回囲碁将棋大会が開催され、大天狗小天狗集られた各位の攻防の秘術をつくし夕方五時に対局を打切つた。その戦績

**囲碁の部**
一等　小川　久（ウデコキ）
二等　藤井善二郎（〃）
三等　佐藤　藤作（四之町）

**将棋の部**
一等　富田　富八（小合）
二等　長谷川勘三郎（矢代田）
三等　高山　秀芳（小合）

## 町民の声

（投稿歓迎）

### 会場での土足について

私は二月二十一日の立合演説会に初めて選挙権を持ち…無駄な一票になつてはいけないと思い、各候補者の公約などを聞いてまいりました。

その際に感じたことですが、土足のまゝの人の多いことにおどろいた。よく日登校した純真な子供達はどう思うだろう。自分達が冷いのをこらいて掃除したところを無残にも下駄や靴の跡だらけこれが自分達の父さんや兄さんなどがまじつておると思つたら何んと考えるだろう。

まつたく赤面のほかない。真面目に聞いていた人も迷惑したことであろう。こんな小さなことくらい、又どうせ俺一人じやないなどと思つたらとんでもない考え違いである。こんな小さなことが明日の町建設、日本建設に響いてくる。幾ら人前に利口なことをいつても多勢の場所へ行つて公徳心を失うようでは俗にいう「お里が知れている。」この他にも似たようなことがあるが、どうか他町の人が来ても恥かしくないような常識を養つてもらいたい。

（五之町KK生）

◇建設的な皆さんの投稿をどし〳〵お寄せ下さい

（締切り毎月廿日）

# 一人残らず投票しましょう

## 俳句

小須戸町俳句同好会

凍解の畑見廻りし靴泥　一灯
バスの中藪入りの人こみ合える　水月
編みて居る襪の錘りは蔵の錠　山葵
退院の予定を記入初ごよみ　星灯
藁屑を除ければ下に残る雪　渓灯
仰向いて読む独歩集や陽脚のぶ　向日葵
二日はや仲間はづれの日記書く　虚秋
白鳥のその日の湖のあたゝかく　ひさ
立春の落暉小手にとらえ居し　素堂
町村合併論何処春雪町静か　石秋
寒雨に農夫思念の顔みえて　香月
雪除けてありし句宿の灯されて　蜂子
掛乞うて茶をすゝめられ世辞笑え　虚風
寒の雨風加わりて市終り　一知
掛乞や犬がいつまでも吠えたてる　茜草
掛乞に出てゆく妻の身ごしらい　魯郎
臥す程の風邪でもなしと掛乞に　灯流
一鴉翔ち暮色刷きたり遠雪嶺　良遊
桜餅塩味かすか葉にもてり　流水

# 明るい町

## 犯罪の無い町に

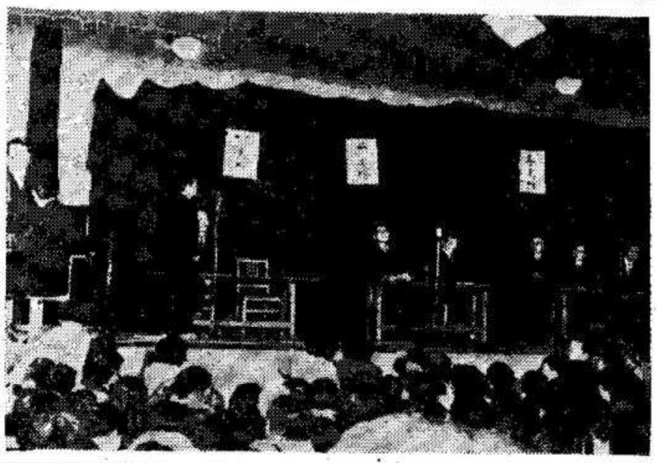
### …防犯モデル町に…

本年一月より小須戸町では県の警察本部より防犯モデル町として指定されました。去る三月廿八日午後から公民館に於て各部落町内の防犯組合長や業種別防犯組合員の方々から御集りを願い宮本新津警察署長白井防犯係長が臨席せられ色々と防犯モデル町としての施設計画、実行方法などの打合せをいたしましたが御集りの皆さんから遠慮ない質問や御意見が出て検討いたしました結果立派な実施計画が出来上がりましたから追て皆様の方へ御知らせ申しますが何分の御協力と御支援を御願い申します。

防犯協会長

# 町民のかくし芸大会

町民各位、待望のかくし芸大会は本年選挙等で例年よりおくれ三月六日小須戸小学校で開催された。天気に恵まれ又日曜のことで朝からつめかけて、たちまちのうちに福引券も出尽して会場は大入り満員、宮崎館長の開会のことば、長谷川町長の挨拶の後、小中学校の生徒さんの美技に観衆をこうこつたらしめ、又各保育園の子供さんたちの無邪気な演技の後、各分館の出演に移り女子青年団の方々の踊り、婦人会の演劇や踊り等なか〳〵の名演続出で会場ぎつしりと集られた人々も中食も食べるのを忘れ熱心に観られて、最后の福引券の抽選で楽しい一日を午后四時三〇分過ぎ幕をとじた。



（三ツの関所）

## 町民かくし芸大会御寄贈御禮

## 櫻花寮療養所慰問

町連合婦人会

村松町にある養老院桜花寮では、おじいさん、お婆さんたち五拾名が収容されているが、去る二十九日小須戸町連合婦人会一行二十一名で慰問品を持参されて訪問、おどりや、唄などいろ〳〵とおもしろくなごやかに一日を慰問され、桜花寮の皆さん一同から感謝されながら帰つた。

尚当日国立村松療養所へ入所されておられる町出身者を慰問された。

ゴム靴　第　地下タビ
横山履物店
小須戸町横川

# 町の農業を解剖する

## 改良普及員研究会で

昨年の九月上旬六日間の日程で中東蒲原内の改良普及員の地区農業改良普及計画現地研修会が、小須戸町をモデルとして開催されたことは、既に御承知であつたでしようが、当時調査対象となつた農家及び実行組合宛には、その結果を資料として詳しく報告してあります。この結果を詳細に記載する事が紙面の関係上できませんので、その骨組だけを示したのが原因図です。

小須戸町は経営規模や立地条件の差が甚だしく大きいですから、それらを勘案して四つに分類して原因図を作り、それを元として町全体のものを一つの原因図として、纏めたものですから少し無理しておる部分もあるかも知りませんので御諒承願います。

原因図は町一円の外、平場と山手、経営面積の大小によつて四種類になつています。えれぞれの原因図には改良目標、普及事項等を整理した計画表が作製されています。

皆さんの経営の隘路もこのようにして原因を探究することにより、問題を解決する勇気も出て来るでしよう。勿論個々の農家では容易に解決出来ない問題も沢山あることでしようが、その為にはどの機関にどう働きかけるか、これは皆さんの前に横たわる大きな課題であると考えられます。

この催しに当り町当局を初め農協、共済、公民館及び関係農家の少なからざる御援助御協力を賜り、無事終了しました事に対し感謝に堪えません。

（新津地区農業改色普及事務所）

# 小須戸町農業改良原因圖

（問題点）　（原因）　（対策）

農業生産が低い

- 稲作が不安定である
  - 土地条件が悪い
    - 地力の低下が少なくない……堆肥の改良と増施（管理と効果的施用）
    - 泥炭地がある……排水・石炭施用・客土
    - 地下排水が良くない……明渠の整備・暗渠実施
    - 浅耕土である……可能地の年次計画の深耕
    - 耕地が分散している……交換分合
  - 耕種方法が不合理である
    - 育苗技術が低い……改良苗代（面積増加）
    - 栽植密度が不適当……稍密度を高め長方形様式
    - 施肥の不合理……窒素の施用量並に施用法の改善
    - 除草の時期が適正でない……早期除草、適期止草と除草剤活用
    - 灌排水の管理が適当でない……中干の適期励行・早期落水の是正
  - 病害虫の発生が多い
    - 防除器具が不定である……農薬・防除器具の整備
    - 適地適品種が作付されない……耐病性品種
- 裏作が不振である
  - 収量があがらない
    - 技術水準が低い……技術の向上（適品種導入・適期播種・施肥法の改善）
    - 雑草が多い……輪作年限延長・完熟堆肥の増施
    - 土地、及土壌条件が悪い……排水による利用面積の広大・石灰施用
  - 労力が競合する
    - 畜力機械力の利用……共同利用
    - 労力の調整が悪い……労働計画・品種選訳による労力配分
  - 裏作跡地の稲作収量が不安定である
    - 技術が低い……裏作跡地の稲作の安定
    - 病害虫に浸され易い……適期防除
- 畑作の経営がまずい
  - 畑作に対する関心が薄い
    - 技術水準が低い……輪作の合理化・反収増加（病害虫防除）
    - 収量が不安定……良質堆肥の増施と石灰の適正施用
    - 販路が狭い……作目の変換と品種品質の向上を計る
- 畜産があまり振はない
  - 自給飼料が少ない
    - 自給飼料の栽培が少い……裏作による飼料の確保・サイロの設置
    - 採草地が少ない……草生改良（農道及堤防にクローバ等の播種と野草に施用する）
  - 資金が不足
    - 自己資金の不足
  - 飼養技術が低い
    - 関心が薄い……農業経営上に於ける重要性の認識
    - 知識が乏しい……飼養知識の普及
- 農業経営に隘路がある
  - 計画性が少ない……設計書・簿記の普及による農業生産計画の樹立
  - 土地生産性が低い……利用率向上により総合生産を高める
  - 単作地帯としては経営面積が少ない